

令和元年度事業報告書

公益財団法人の移行認定を受けて 8 回目の事業報告となりました。

幼児画・小学校児童画展助成及び顕彰事業

I …… 幼児対象

第 25 回福岡県幼児画展（主催 福岡県幼児造形教育研究会・西日本新聞社）は、福岡アジア美術館で令和 2 年 1 月 9 日（木）から 14 日（火）まで開催されました。今年も事業開催に対する助成金として 85 万円を援助しております。特別賞（23 点）特選（127 点）入選（300 点）の 450 点が展示されており、13 日には、同美術館の交流ギャラリーにて表彰式が執り行われ、特別賞を受賞した子どもや関係者の参加がありました。開催期間中は年始休暇中の開幕でもあり、のべ 2,718 名（前年比 50 名増）の来場がありました。なお、「福岡県知事賞」をはじめ、特別賞受賞者 23 名については、12 月 4 日付西日本新聞紙上で掲載されました。

応募総数は 4,564 点の作品が寄せられ、昨年度より 500 点以上の減少であり、園数は 10 園減りました。今年作品は、家族や動物、乗り物、遠足やお祭りなどを題材にした作品が多く、子供らしい目線で描かれていました。今年作品解説は元図工研の倉光先生にいただき、選出の経緯や各作品の創意工夫などを丁寧に解説いただきました。表彰式では、江口理事が賞状授与を行いました。

II …… 小学校対象

- 1) 第 68 回福岡県小学校児童画作品展（主催 福岡県小学校図画工作科教育研究会）に対し、活動推進助成のため第 27 回援助（総額約 91 万円）を行い優秀な 16 校に松本文化芸術振興財団賞として賞状・ブロンズ盾（『ひまわりと少女』…片山博詞作）・筒を贈りました。同作品展は、福岡県立美術館展示室で令和元年 12 月 26 日（木）から令和 2 年 1 月 13 日（月）まで開催されました。（一部、年末年始休暇中は休館）今年会場予約の関係で、例年より長い会期となりました。また、1 月 5 日には学校賞表彰式が市民会館小ホールで行われ、市丸理事長

が表彰式の来賓者代表あいさつと賞状授与を行いました。応募総数約 27 万点の中から各地区で審査後、特選に選ばれた作品 834 点が展示され、「学校賞」受賞校の校長及び図画工作科担当先生・「特選」入賞児童とそのご家族、加えて一般客の来場者も併せ約 5,000 人ありました。

- 2) 上記作品展の特選作品受賞者に記念品（受賞者各人の作品のオリジナル特製カード 3 枚にスタンドケース付）を贈呈しました。学校 404 校分、個人名として 834 名分です。検索新システムにより学校別の特選人員数が自動表示されるようになり、封入ミスを事前に防止できるようになりましたが、学校発の名簿と外部から供給いただくデジタル画像の名簿の錯誤が 3 点ほどあり、再送付いたしました。各児童の氏名は学校毎、地区毎にまとめていただき、財団にメールで届くシステムですが、先生方の名簿の精度にも若干問題があり今後の課題です。

美術展事業：貸出管理運営事業

- 1) 平成 30 年度第 24 回福岡県幼児画展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行いました。
- 2) 平成 29 年度第 66 回福岡県小学校児童画作品展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行いました。
- 3) 絵画データ検索システムに平成 30 年度第 67 回福岡県小学校児童画作品展特選作品（834 点）と平成 30 年度第 24 回福岡県幼児画展特別賞及び特選作品（150 点）の情報入力を行いました。
- 4) 福岡県小学校児童画作品展特選作品の画像入力は、作品集の撮影画像データ（昭和堂制作）を使用し、福岡県幼児画展は、当財団で新たに導入したデジタル撮影システムにて撮影した画像データを追加登録致しました。
- 5) 福岡県小学校児童画作品展の特選作品貸出件数は 7 件で、貸出総数は 64 点でした。今年度は少なかった昨年度よりさらに減少しております。ネットを活用した事例が増えていると推測できますが、確かな事由は今のところ不明確です。

美術展事業：インターネットこども美術館ふくおか事業

- 1) 今年度は絵画引き渡し請求という訴訟までありましたが、全体最適を

考え子どもたちの情操教育への貢献を信じて、引続き動向を観察して参ります。

- 2) 絵画検索システムが新しくなりました。少々課題は残っていますが、非常にスピーディーに処理できるようになっています。
- 3) 『インターネットこども美術館ふくおか』のホームページの平成 30 年度の特選受賞者の画像及び情報追加更新を行いました。現時点で 2 万 5 千点以上のデータ蓄積となります。